

Part 1 基本情報

1. マーシャルプロフィール

(1) 正式名称	(和文) マーシャル諸島共和国 (英文) Republic of the Marshall Islands
(2) 政体	共和制
(3) 首都	マジュロ
(4) 面積	180平方km
(5) 人口	6万1025人(2009年 世界銀行)
(6) 民族	ミクロネシア系(カナカ人、カナカ人と欧州系、日系の混血)
(7) 言語	公用語 : 英語 公用語のほかマーシャル語
(8) 宗教	プロテスタント
(9) 略史	1528年スペイン人到達。1885年ドイツの保護領となる。1914年日本がマーシャルを含むミクロネシアの島々を占領。1947年国連の信託統治領としてアメリカの統治下に入る。1979年自治政府発足。1986年アメリカとの間で自由連合に移行。
(10) 在留日本人	61人(2010年10月)
(11) 気候	熱帯海洋性気候に属し、高温多湿である。年間降水量は北部地区で2000mm、南部地区で4000mmに達する。3月から9月にかけて雨が多い。平均気温は摂氏約27度で、年間を通じ温暖な気候である。国土が低地であるため、高潮の被害を受けやすい。

【参考】

「外務省ホームページ-各国・地域情勢-」外務省
『最新世界各国要覧 10訂版2000』東京書籍

2. 業務のための基礎データ

(1) JICA事務所の概要(マーシャル支所)

住所 : 1st Floor, PII Complex, Delap Village, Majuro Atoll, Republic of the Marshall Islands

連絡先 : 国番号 : 692

市外局番 : なし

電話 : +692-625-5437 ~ 8 (マジュロ市内では625からダイヤルする)

FAX : +692-625-5439 (マジュロ市内では625からダイヤルする)

URL : なし

E-mail : ma_oso_rep@jica.go.jp

執務時間 : 9:00~17:30 (昼休み12:00~13:30)

休日 : 下記祝日と土曜日、日曜日。

1月 3日	New Year Holiday
2月11日	建国記念の日
3月 1日	Nuclear Victim Remembrance Day
3月21日	春分の日
4月22日	Good Friday
5月 2日	Constitution Day
7月 1日	Fishermen's Day

7月18日	海の日
9月 2日	Dri-Jerbal Day
9月30日	Maint Day
10月10日	体育の日
11月3日	文化の日
11月17日	President's Day
12月 2日	Gospel Day
12月26日	Christmas Day
12月29日	Year End Holiday
12月30日	Year End Holiday (2011年)

事務所までの交通

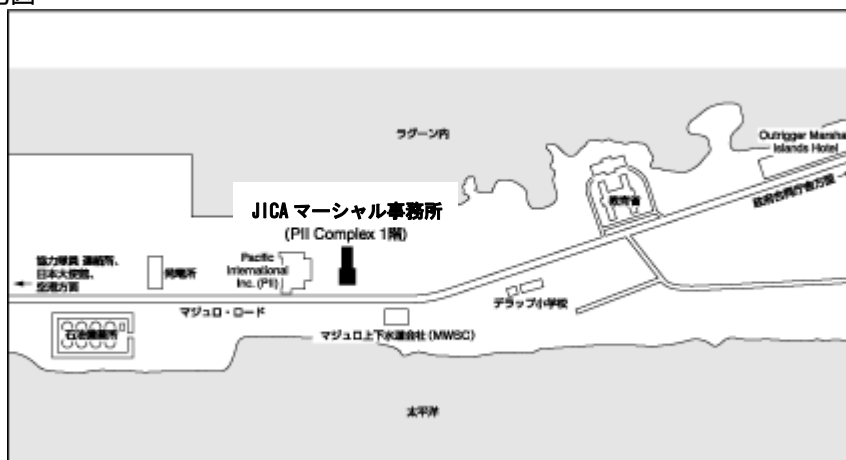
【空港から】

マーシャルにはバスなどの公共交通機関がない。空港送迎については、宿泊先の送迎車両(無料)の利用が便利で確実である。空港内に事務所を持つレンタカー会社もあり、事前に予約すれば空港からの借り上げも可能である。市街地まではタクシーも走っているが、乗り合い制である上、常時空港に待機してないため、利用はあまり勧められない。事務所までの片道料金は5米ドル、所要時間は20～30分である。タクシーの運転手に「PII」(JICA事務所の西隣にある建設会社Pacific International Inc.の略)または「MWSC」(事務所斜め向かいの水道局Majuro Water and Sewer Companyの略)と告げるとわかりやすい。

【空港以外から】

公共交通機関がないため、移動手段はレンタカーとタクシーが一般的である。タクシー(乗り合い制)の料金は、最低運賃50セントから距離に応じて上がる。運賃メーターはないが、料金は大まかに決まっている。市街地(ウリガ地区)からJICA事務所(デラップ地区)までは1米ドル。空港方面から事務所に来る場合は、距離に応じ0.5～2.25米ドルとなる。レンタカーは日本の運転免許証でも利用可能。事前に交渉すれば、空港での借り上げも可能である。マジュロのレンタカー会社は、Part3イエローページ「10.レンタカー」を参照。

(2) JICA事務所周辺地図



- (3) 日本との時差、サマータイム
 日本との時差 : +3 時間(例: 日本の 13:00 はマーシャルの 16:00)
 サマータイム : 実施していない。

(4) 祝日、官公庁の休日

祝日 :	1月 1日	New Year Holiday
	3月 1日	Nuclear Victim Remembrance Day
	4月22日	Good Friday
	5月 2日	Constitution Day
	7月 1日	Fishermen's Day
	9月 2日	Dri-Jerbal Day
	9月30日	Maint Day
	11月17日	President's Day
	12月 2日	Gospel Day
	12月26日	Christmas Day (2011年)

官公庁の休日 : 上記祝日と土曜日、日曜日。

(5) ビジネスアワー 官庁 : 8:00~17:00(土日祝日休み)

銀行 : Bank of Guam Majuro Branch (Payless Supermarket隣)
(月~木10:00~15:00 金10:00~18:00 土日祝日休み)

Bank of Marshall Islands (Hotel Robert Reimers隣)
(月~金8:00~17:00 土13:00~16:00 日祝日休み)

Bank of Marshall Islands (Airport Branch)

(月水金13:00~19:00 火木7:00~13:00 土7:00~13:00 日祝日休み)

商店 : 9:00~18:00(休みは店ごとに異なるが、日曜日に閉店している商店が多い)

(6) 言語

業務 : 英語。英語とマーシャル語。各言語の使用頻度は配属先により大きく異なる。

マジュロでは比較的英語が通じるが、その他の地域ではほとんどマーシャル語である。

ホテル、買い物、食事 : ホテルや大きなスーパー、レストランでは英語が通用するが、小さな商店ではマーシャル語が使われることが多い。

(7) 通貨

通貨 : 米ドル(US\$)

(8) 通貨レート

為替レート 該当情報なし。

(9) 関係機関

【在外日本関係機関】

・日本大使館

住所 : Long Island (Payless Supermarket向かい)

電話 : +692-247-7463/7483

FAX : +692-247-7493

URL : <http://www.mofa.go.jp/mofaj/annai/zaigai/list/oceania/marshall.html>

【マーシャルの関係官公庁】

・Ministry of Education

住所 : デラップ地区(マーシャル・アイランズ・リゾートホテル横)

電話 : 625-5261~2、625-3656

FAX : 625-3861

- ・Ministry of Foreign Affairs
住所 : デラップ地区(政府合同庁舎内)
電話 : 625-3012/3181 FAX : 625-4979
- ・Ministry of Health
住所 : デラップ地区(マジュロ病院内)
電話 : 625-3355(Hospital)、625-5660(Administration)
FAX : 625-4543(Hospital)、625-3432(Administration)
- ・Ministry of Internal Affairs
住所 : ウリガ地区(CMI近く)
電話 : 625-8240 FAX : 625-5353
- ・Ministry of Transportation and Communications
住所 : デラップ地区(発電所の隣)
電話 : 625-8869 FAX : 625-3486
- ・Marshall Islands Marine Resources Authority(MIMRA)
住所 : デラップ地区(P.I.I.横)
電話 : 625-8262、625-5632
FAX : 625-2365

- (10) 有用サイト
- <http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/index.html>(外務省「各国・地域情勢」)
 - <http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/index.html>(外務省「渡航関連情報」)
 - <http://www.rmiembassyus.org/index.html>(マーシャル政府のホームページ)
 - <http://www.yokwe.net/>(マーシャル最新情報)

Part 2 生活情報

1. ホテル、住宅



1-1 ホテル

首都マジュロには10軒ほどのホテルがあるが、実際にはアパートであったり、電話帳に記載されていても実在しなかったりするので、注意が必要である。ほとんどの離島には宿泊施設がないので、知り合いのつてで民家に宿泊させてもらうことになる。マジュロ市内の主なホテルは次のとおりである(詳細はイエローページを参照)。

<ウリガ地区>



・ホテル・ロバート・レイマーズ

(Hotel Robert Reimers。以下、RREホテル)

<デラップ地区>

・マーシャルアイランズ・リゾート

(Marshall Islands Resort。以下MIR)

<ロングアイランド地区>

・ロングアイランド・ホテル(Long Island Hotel)



マーシャル・アイランズ・リゾート



ロングアイランド・ホテル

1-2 住宅事情

人口過密で、住宅の不足が顕著である。アパートや一軒家の空きは少なく、空きがあっても家屋の修復に1か月以上かかったり、前金を渡していても他の人が先に住んでいたたりすることもある。この場合は前金を返却してもらい、別の住宅を探すことになる。

リタ地区は下町で家賃は安い、断水が多く、治安もよくない。

デラップ地区とウリガ地区は、官庁や商業の中心街で家賃が高く、物件が少ない。この地区の一部屋あたりの面積は狭く、おおそリタ地区の2分の1、ロングアイランドのライロック地区の3分の1である。

ライロック地区は、水源に近く水の供給が比較的安定している。外国人の多くがこの地区に住んでおり、ガードマンを配した住宅もある。



住宅(アパート)



住宅(独立家屋)

家賃は全地区を通して住宅の質や大きさに関わらず当国の公務員住居手当の上限である750米ドルに設定されている場合が多い。その中でもリタ地区は比較的安価で500米ドル程度の住居もあるが、一方でライロック地区では質の良い住宅は950～1250米ドルが相場である。

1-3 住宅の探し方

貸家を取り扱っている斡旋会社はないので、知り合いなどを通じて探す。週1回発行の新聞「マーシャル諸島ジャーナル」に広告が掲載されることもある。

1-4 住宅選定上の留意点

地区により治安、水の便などが大きく異なるので、住宅がある地区の事情に詳しい人に説明を受けることを勧める。近年、盗難事件などが増えているので、フェンスやガードマンの有無を確認すること。

1-5 住宅の契約

政府が公務員用に住宅を借りる場合は、3カ月ごとに家賃を支払うが、通常は1カ月ごとに支払う。

個人的な契約が多いので、契約内容はさまざまであり、契約書がない場合もある。しかし、外国人の居住する住宅の多くは契約書を備えており、契約内容もほかに比べるときちんとしている。契約の際、必要なものを要求し、文書にすることが望ましい。契約書にサインする前に、契約者、家賃、契約期間などの基本的な条項に加え、家屋・家具の修理などに関する契約内容を詳しく吟味することを勧める。また、長期派遣者の場合、滞在中に住居を変更したり、解約したりすることも考えられるので、契約書に中途解約に関する条項が記載されていることを必ず確認する。解約条項がない場合、契約を解除できないこともありうる。

家屋の修繕が必要な場合は入居前に修繕しておくことが望ましい。家具は備え付けが多い。住宅によっては警備などのサービスが含まれていることもある。

1-6 ガス、水道などの手続きと管理

電気、ガス、水道、電話のサービス提供会社は以下のとおりである。

・電気・ガス(プロパンガスのみ) : Marshall Energy Company(MEC)

所在地 : デラップ地区 郵便住所 : P.O. Box 140, Majuro, MH 96960

電話 : 625-8445(電気部門・電気配給) FAX : 625-6145

E-mail : meccorp@ntamar.net

・水道 : Majuro Water and Sewer Company(MWSC)

所在地 : デラップ地区 郵便住所 : P.O. Box 175, Majuro, MH 96960

電話 : 625-8838/8934 FAX : 625-3837

E-mail : mwsco@ntamr.net(Marketing Supervisor)

- ・電話 : Marshall Islands National Telecommunications Authority (NTA)
- 所在地 : デラップ地区 郵便住所 : P.O. Box 1169, Majuro, MH 96960
- 電話 : 625-2273 (カスタマーサービス)、625-2276 (ヘルプデスク)、
625-3851 (トラブルデスク/故障対応)、625-1411 (番号案内)
- FAX : 625-3386 (アドミニストレーション)
- E-mail : ntamrktg@ntamar.net (Marketing Supervisor)

各サービスの利用を開始するには、直接、各会社の窓口で申し込む。電気、水道および電話の使用料の支払いは、毎月郵送される請求書を窓口を持参して1か月ごとに支払う。使用料の支払いが遅れると、サービス利用が停止される。プロパンガスについては、主な利用者はホテルや飲食店などであり、個人が利用することはきわめてまれである。外国人が借りる住宅のほとんどは電気調理コンロを含む家具付きであり、ガスを利用できる設備はない。

注) 電話料金支払いについて

使用料支払いが遅れると電話回線が切断されて、その回線が他者に割り当てられる。マーシャルの電話回線数は非常に少ないため、いったん他者に振り当てられると別の回線を再取得することは非常に困難であり、時間を要する。郵便事情により請求書の到着が遅れた場合であっても容赦なく回線が切断されるので、請求書の到着が遅れていると思われる場合は、早めにNTA窓口に出向いて支払うなど、十分に気をつける必要がある。

1-7 家電

(1) 電圧

120V、60Hz (公式には117Vとなっている。電圧はやや不安定) である。電圧が日本と異なるため、日本仕様の電気製品 (100V専用) を使う場合は変圧器 (トランス) が必要である。現地では100Vに変換する変圧器は入手困難なため、必要な容量の変圧器を日本で購入して持参するか、送付することを勧める。

(2) コンセント、モジュラージャックの形

現地のコンセントは、日本のコンセントにアース用ピンが1本追加された形であるが、日本の差し込みプラグ (日本製品のプラグ) をそのまま利用できる。しかし、電圧が異なるにもかかわらず、日本の差し込みプラグがそのまま使えることから、誤って変圧器を使用せずにプラグを差



コンセント、プラグ

モジュラージャック

し込み、電気製品を焼損した例が多く見られるので、利用の際は十分な注意が必要である。モジュラープラグは日本と同じ形である。

(3) 家電製品

テレビ、電話、冷蔵庫、電気スタンドなど、生活に必要と思われる家電製品はお

おむね手に入る。DVDプレーヤーも入手可能だが、日本とリージョン・コードが異なるため、日本のDVDプレーヤーでは現地購入したDVDやレンタルDVDを見ることができない場合が多いので注意する必要がある。また、ほとんどの家電製品が日本と比べてかなり割高である。

電池で動く機器(携帯用ラジカセ、携帯用CDプレーヤーなど)は、日本から持参しても利用できる。

1-8 家具保険

火災保険がある。ただし、家具は住居に備え付けの場合が多いため、住居契約の前に家具保険の有無および必要性について家主に確認することが望ましい。これまでのところ、住宅契約に際して、住居契約とは別に家具保険を契約した例はない。

赴任後に個人が購入した家具については、本人の希望しだい加入を検討する。

1-9 その他

独立家屋の場合、家の裏側が海に面することが多い。外壁が高い独立家屋に住む場合、道路側から内側(海側)が見えないため、不審者が海から侵入しても誰も気づかないことがあるので、警備員を配置することを検討したほうがよい。

2. 衣料、理容



2-1 衣料全般

(1) 一般事情

年間を通して夏服ですごすことができる。アメリカ製のシャツ、ワンピース、ズボン、スカート、マーシャル製のムームーなどが出回っているが、品薄である。価格はTシャツが20米ドル前後、ワンピースが20~60米ドルと安価ではない。近年、台湾系企業の進出がめざましく、中国や他のアジア諸国製の衣類も出回っている。

(2) 日本から持参したほうがよい衣料

男性用、女性用、子供用、乳幼児用を問わず、綿製品を中心に日本から持参したほうがよい。特に綿素材の下着は購入できない。水着や履物も持参したほうがよい。

(3) 現地で調達したほうがよい衣料

Tシャツ、アロハシャツ、ムームー、サンダルなどは入手が容易である。

(4) その他の留意点

事務所やスーパーなどクーラーが強く利いているところがあるので、ちょっと羽織る長袖があると便利である。

2-2 礼装

(1) パーティー

格式の高いフォーマルなパーティーはまずない。多いのはアイランドカジュアルと呼ばれる服装で、男性はアロハシャツと長ズボン、女性はムームーが基本である。服装の指定がない場合も含め、男性は襟付きシャツと長ズボン、女性は肩、胸元、太ももを覆う程度のワンピースかスカートで十分である。

(2) 式典

マーシャル諸島の祝祭日や配属機関の行事などで式典のある場合は、パーティー時の服装と同様でよい。日本の祝祭日の式典としては天皇誕生日があるが、この時もパーティー時の服装と同様でよい。

(3) 冠婚葬祭

一般的な葬式の際は、男性は襟付きシャツと黒に近い色のズボン、女性は黒、青、紫などのムームー、ワンピースなどを着用すればよい。

(4) その他の留意点

通常の仕事では、男性は襟付きシャツ(アロハシャツを含む)と長ズボンを着用しており、ネクタイ、背広を着用する習慣はない。

女性は、肩、胸元、太ももを覆う程度のワンピースかスカートで十分である。ただし、女性がパーティー、式典、冠婚葬祭などの場で、ズボン(長ズボンおよび短パン)を履くのは好まれない。いずれの場合もビーチ・サンダルは不可。日常生活では、男性、女性とも肌を多く露出する格好は好まれない。

2-3 洗濯、仕立て、修繕、保管

(1) 洗濯

クリーニング店があり、ドライクリーニングもできるが、仕上がりはいいとはいえない。アパートに洗濯機や乾燥機が備えられている場合もある。また、コインランドリーも利用できる。アイロン、洗濯機は現地で購入可能なので、持参する必要はない。なお、大きいホテルではクリーニングサービスがある。

(2) 仕立て、修繕

仕立て、修繕の専門店はない。ミシンを持っている人や知っている店に個人的に依頼するか、自分で行うことになる。

(3) 保管

ドライクリーニングの質が悪く、皮革製品や絹製品の手入れは難しい。湿度が高いため、衣類の保管には防虫剤や除湿剤の利用が望ましい。防虫剤や除湿剤は、日本から持参するほうがよい。

2-4 美容院、理髪店

美容院、理髪店は数店ある。一般的な料金は、カット10米ドル程度、パーマ70米ドル程度、シャンプー5米ドル程度である。美容・理髪用品はアメリカ製のものが入手できるが、特定の製品を使用しているならば、持参したほうがよい。日本人の場

合、自分で切る、あるいは友人に切ってもらふことが多い。

主な美容院は以下のとおり(詳細はイエローページを参照)。

- ・ Elegance Spa & Massage Clinic (MIRホテル内)
- ・ Hair Tech MLV(ロングアイランド地区)
- ・ Hair Comb Salon & Spa(ウリガ地区)
- ・ Cutting Edge Salon(RREホテルの1階)

3. チップ



3-1 チップ事情

(1)習慣の有無

チップの習慣はない。

(2)各種サービスに対するチップ

該当情報なし。

4. 食生活



4-1 外食

(1)一般事情

レストランでは一般的なマナーを守っていれば問題はない。多くのレストランでは予約は不要であるが、多人数で行く場合は予約するのが望ましい。

多くのレストランはアメリカンタイプで、そのほかに中国料理、日本料理などがある。現地では刺身が食べられるが、新鮮であるかどうか確認したほうがよい。料金は日本と比べても安くはない。支払いは現金が中心であるが、ホテルのレストランではクレジットカードの利用が可能である。

レストランでは冷房が強すぎる人が多いので、長袖シャツ、カーディガンなどを持参するとよい。

(2)飲食店

<ホテル内のレストラン>

主なレストランは以下のとおり(詳細はイエローページを参照)。

- ・Tide Table
- ・Enra Restaurant
- ・Long Island Hotel Restaurant

<市中のレストラン>

ホテル以外の主なレストランは、以下のとおりである。特定の料理のみを出すレストランは少なく、たとえば「中国料理」と記されている場合でも、アメリカンフードを注文できる場合もある。

○ウリガ地区

- ・Won Hai Shein Restaurant(中華料理)
- ・Monica Restaurant(中華料理)



Tide Table

Yellow Page

- ・DAR Coffee Corner(一部、マーシャル料理)
- ・Skyline Restaurant
- デラップ地区
 - ・Oriental Restaurant(中華料理)
 - ・Flame Tree Restaurant
 - ・Best Food Coffee Shop (カフェ)
- ロングアイランド地区
 - ・Stone House Restaurant(日本料理)
 - ・東北風味(中華料理)

4-2 食料

(1) 一般事情

ほとんどの食料品が輸入品である。これまで大半はアメリカからの輸入であったが、近年は台湾系の商店が出始め、かつ、中国、台湾などアジア地域からの輸入も増えている。そのほか日本、オーストラリアなどからも輸入されている。

野菜などの生鮮食料品は、入荷されると店頭で「Fresh Vegetables Arrived」などといった横断幕を張る店もあるので、こまめにスーパーをチェックしたほうがよい。

なお、食材全般にいえることだが、賞味期限のすぎた商品をそのまま店頭で並べている店舗が多いので、確認してから購入したほうがよい。また、値段も日本と同じか、やや高めである。

(2) 主な食品の出回り状況

<米>

すべて輸入品で、オーストラリア米やカリフォルニア米、中国米、台湾米が多く出回っている。日本米も販売している。品切れになることはないが、古い米に虫が入っていることがある。

<パン>

現地で焼かれているパンやドーナツ、ケーキなどもあるが、甘いものが多い。輸入品は、冷凍もしくは冷蔵の形で売られている。

<肉類>

すべて輸入品で、冷凍されて店頭で並んでいる。牛、豚、鳥、七面鳥などが揃っており、鳥類の肉を除いては部位別に分けて売られていることはあまりなく、主に用途別に分けて(ステーキ用、ポークチョップ用など)売られている。ほとんどのものは骨付きのまま適当な厚さにスライスされ、数枚ずつパックされている。牛肉や豚肉はブロックで売られていることもある。

<野菜類>

ほとんどが輸入品である。ジャガイモ、タマネギ、ニンジン、ピーマン、ショウガ、ニンニクなどは比較的安定して出回っているが、緑葉色野菜、特にレタス、キャベツなどは店頭で並び始めた時に買わないとすぐになくなってしまい、売れ残りは傷ん

でいることが多い。

<乳製品>

すべてオーストラリアやアメリカから輸入されている。乳製品については必ず賞味期限を確認してから買うことが大切である。チーズ(チェダー、モッツァレラ、シュレッド、パルメザンなど各種)、バター、マーガリンは冷蔵品として販売され、牛乳、生クリームはロングライフ製品が売られている。

<果物類>

リンゴ、オレンジ、グレープフルーツ、レモンなどが主にアメリカから輸入されている。バナナ、ブドウ、洋ナシ、スイカ、パパイア、マンゴー、メロン、イチゴも店頭に並ぶことがある。現地でもとれるミニサイズのバナナ、ココナツを販売する店もある。

<魚類>

主に現地でもとれた魚がスーパーなどの店頭で、小さいものはそのまま、大きい魚は切り身となって出ている。風が強い日や海が荒れている時は漁に出られないので、魚がないこともある。ウリガ埠頭にある魚市場では、離島で捕れた魚類やイセエビ、たこ、貝なども売られている。

<調味料>

塩、コショウをはじめとするほとんどのスパイス、ハーブ類は揃っている。しょうゆ、みそ、みりん、酢、調理酒、マヨネーズ、わさび(チューブ入り、粉末)、七味トウガラシ、だしの素、のり、カレールー、カツオだし、めんつゆ、ふりかけなども一部購入可能。砂糖は、グラニュー糖、ブラウンシュガー、粉砂糖が売られている。

<食用油>

サラダ油(ベジタブルオイル)、オリーブ油、ゴマ油、ショートニングがほとんどの店で入手できる。

<酒類>

ビール、ウイスキー、ブランデー、ウォッカ、ワイン、ラムなど、メーカーを問わなければほとんどの酒類が入手可能である。日本酒も売られているが、古くなって変色していることもあるので要注意である。

<飲料水>

上水道が雨水と浄水の混合給水であるため、飲料用にはこれを十分に煮沸するかスーパーでミネラルウォーターを購入することを勧める。1ガロン入りを2米ドル前後で買える。また、マジロ市内には飲料水メーカー(Pacific Pure Water電話 : 625-3140/3250 ext.235)があり、5ガロン(約19リットル入り)5米ドルで販売している。家庭用に多量の飲料水を購入したい場合は、契約後、必要時に連絡すると宅配をしてくれる。料金は配達時に支払う。

<その他>

缶詰類はフルーツから野菜類、加工食品まで種類が豊富である。日本食料品では、乾めん(うどん、そうめん)などがある。

(3) 食料の入手

主なスーパーマーケットは次のとおりである。

 Yellow Page

- ・Formosa Shopping Center
- ・Payless Supermarket



Formosa Shopping Center

<日本食品が購入できる店>

- ・MJCC (Marshalls-Japan Construction Company)
- ・Best Food Coffee Shop

4-3 食器、調理器具

(1) 食器、調理器具などの入手

冷蔵庫、電気釜、トースター、ミキサー、電子レンジ、コーヒーマーカーなど、ほとんどの電化製品は現地で調達可能である。包丁、まな板(プラスチック製)、鍋、やかん、フライパン、おたま、こし網、包丁とぎなどの調理器具、スプーン、フォーク、ナイフ、コップ、コーヒーカップ、皿、小鉢、プラスチック製の小井、れんげなども入手可能である。また、耐熱ガラス製品、ケーキ型なども種類が豊富にある。

食器、調理器具は、下記の店で入手できる。

 Yellow Page

- ・Formosa Shopping Center
- ・Payless Supermarket
- ・EZ Price Mart
- ・ACE Hardware

(2) 日本から持参したほうがよい食器、調理器具

茶碗、お碗、はし類、菜ばし、木じゃくし、おろし金、すりばち、すりこぎ、急須などは入手が困難なので、必要ならば持参したほうがよい。包丁は入手可能だが、よく切れないものが多い。また、現地で寿司をつくるならば、寿司桶と巻きすは必要である。

5. 生活用品の購入



 Yellow Page


5-1 家電製品

家電製品は機種、メーカーを問わなければ必要なものはおおむね入手可能である。ただし、すべて輸入品であるため、日本よりも割高である。主な店は次のとおり(詳細はイエローページを参照)。

- ・Copy Master
- ・Office Mart
- ・EZ Price Mart
- ・Payless Supermarket
- ・Division 7 & 12
- ・Ace Hardware
- ・MJCC


5-2 家具

入手可能な家具は、種類、個数ともかなり限られるが、何軒か回るうちに揃えられる。しかし、大型の家具の入手は困難である。主な店は次のとおり。

-  Yellow Page
- ・Payless Supermarket
 - ・MJCC
 - ・Office Mart


5-3 日用品、雑貨

生活に必要な日用品は、おおむね買い揃えることが可能である。ただし、値段は日本と同じくらいである。主な店は以下のとおり。

-  Yellow Page
- ・Formosa Shopping Center
 - ・Payless Supermarket
 - ・Ace Hardware
 - ・MJCC
 - ・Momotaro Corporation

5-4 工具、素材

メーカーや機種にこだわらなければ、おおむね入手可能。日本のように1軒ですべて買い揃えられるようなDIYタイプの店はないので、何軒か回ることになる。主な店は以下のとおり。


-  Yellow Page
- ・Ace Hardware
 - ・Do it Best
 - ・Formosa Hardware
 - ・MJCC
 - ・Momotaro Corporation

6. 金融機関



6-1 金融機関

(1) 銀行

 Yellow Page Bank of Guam (Majuro Branch) と Bank of Marshall Islands の2銀行がある(詳細はイエローページを参照)。多くは Bank of GUAM を利用している。Bank of Guam はマジュロ市内にATMが2箇所設置されている。

(2) 口座の開設と閉鎖

当座預金 (Checking Account) と貯蓄預金 (Saving Account) があり、必要に応じて口座を選択する。当座預金は小切手が利用可能であるが、利率は貯蓄預金のほうが高い。

口座を閉鎖する時は銀行で諸手続きをするが、口座開設後90日以内に閉鎖すると、口座解約料 (Closing Fee) として25米ドルが科せられる。

(3) 小切手

現地の銀行小切手は、公共料金の支払い、買い物などに利用できるのもので便利である。銀行で当座預金口座を開設する際に、小切手を作成する旨を伝え、所定の用紙に記入・署名して銀行の担当者に提出する。小切手の印刷を海外に委託するため、手元に届くまでに1～2カ月を要する。発行枚数に応じた小切手の作成手数料が必要である。なお、申し込みから到着までの間に小切手を利用する場合は、銀行に依頼すると臨時小切手(Temporary Check)を作成してくれる。

(4) 換金方法

銀行で米ドルのトラベラーズチェックから米ドル現金への換金が可能である。米ドル以外の通貨(日本円を含む)の現金やトラベラーズチェックは、銀行やホテルでも換金できない。

6-2 クレジットカード

マジュロのホテルや大きなレストランなどではVISA、MasterCardが利用可能。一部の施設ではAmerican ExpressやJCBのカードも利用可能である。クレジットカードを用いたATMでの現金の引き出しも可能である。

7. 交通事情



7-1 交通手段

(1) 一般事情

マーシャル諸島の一般交通手段は、タクシー、バス、レンタカー、国内航空、そして船舶である。

<タクシー>

当国のタクシーは全て乗り合いタクシーで、空港～リタ地区間を毎日7:00から23:00ごろまで走っており、人々の重要な足となっている。昼食時間(11:00～13:30)と、夕方(16:00～18:00)は大変混雑するので、利用は避けたほうがよい。また、空港より西側(ローラ地区側)～リタ間はほとんどタクシーは走っておらず、その地域に行く場合は別料金(要交渉)を支払う必要がある。

土日の遅い時間には非常につかまえない。タクシーの利用に際しては、夜間に1人で利用することは避ける、深夜の利用はしない、などを心がける必要がある。

タクシーには停留所などはなく、走行中の車両を止めて乗車する。下車する時は、目的地に近づいたら運転手に地名を告げるか、地名がわからなければ、目的地で「ストップ」もしくは「ジャカネ(そこです)」と言えば止まってくれる。

料金は最低料金が50セントで、距離に応じて料金が上がる。運賃メーターはないが、おおよその料金は決まっている。現在のところ、マジュロ市街地からマジュロ橋を越えると2米ドル、リタ～空港手前(駐車場まで行かない)間が2.25米ドル、リタ～空港間(駐車場まで)が5米ドルである。距離により50セント程度の値段の違いはあるかもしれない。

<バス>

バスは、リタとローラ間で運行している。車両はワンボックス・タイプで、「バス」の目印がないため、一般車両と見分けがつかない。しかし、地元の人や長く住んでいる人は、運転手や乗客の顔、車の特徴(車体の色や傷など)でなんとなくわかってくるらしい。時刻表はなく、RREストアの前の広場で待っているバスの乗客が一杯になりしだい出発する。バス停はなく、途中で拾う場合は手を挙げて止まってもらう。料金はリタからローラまで2米ドル。

<その他>

他環礁へ移動する場合、近隣環礁(アルノ環礁のみ)への移動には船を利用し、それ以外の環礁への移動には航空機を利用する。航空機を利用する場合は、「18-1地方旅行の留意点」を参照。

(2) 空港から市内への移動

ホテルの送迎バス(無料)およびレンタカーが一般的である。市街地まではタクシーが走っているが、乗り合い制であることや常時空港に待機してないことから、推薦できない。知人がいれば空港までの出迎えを頼んだほうが無難である。

(3) 自家用車を利用する場合

マーシャル諸島の道路は、主要道路が1本縦断している単純な構造である。子供と犬の飛び出しが非常に多いので、注意が必要である。また、風の強い日には、走行中にヤシの実が落ちてきてフロントガラスが割れたりすることもある。ガソリンスタンドはマジュロ～リタ間に約5カ所あり、1ガロン5米ドル程度である。

(4) レンタカーなどを利用する場合

レンタカーは日本の免許証でも利用できる(同時に国際免許証を提示することが望ましい)。事前に交渉すれば空港での引き渡しも可能である。マジュロの代表的なレンタカー会社は次のとおり(詳細はイエローページを参照)。



- ・DAR Car Rentals
- ・ELM Car Rentals
- ・G&L Car Rental
- ・Majuro Motors Inc.
- ・Pacific Wheels
- ・RRE Hotel Car Rental

(5) 地図

主要道路は1本のみなので、地図はほとんど必要ない。

7-2 交通事故、盗難

(1) 対処方法

首都マジュロでは車両数の急激な増加にともない、交通事故の発生も増加傾向にある。主な事故原因は飲酒運転、運転技術の未熟さやマナーの欠如、スピードの出すぎなどであり、運転する際には十分注意する必要がある。特に週末の夜間および翌朝の飲酒運転による事故が目立つ。また、道路脇を歩行する場合も車

両の動きに注意が必要である。

赴任当初は生活、業務および運転に不慣れなことから交通事故を起こす確率が高い。土地勘を得るまで赴任後約3カ月程度は運転を控えることが望ましい。事故を起こした場合は、地方警察(Local Police 電話 :625-8999)あるいは国家警察(National Police 電話 :625-8666)へ届け、そのあとは警察の指示に従う。

(2) 救急病院

デラップ地区政府合同庁舎の裏にあるマジュロ病院は、救急外来の窓口(救急 :625-4144)もある総合病院なので、ここに連絡する。

(3) 車両の盗難、車上荒らし

車両の盗難や車上荒らしは比較的少ないが、車両を傷つけられることが多く、加害者が特定できないため対応は難しい。特に週末の繁華街で酒に酔った人に車両を傷つけられることが多いので、週末を避けるなど気をつける必要がある。大きな被害に対して保険などで対応する場合や、車両盗難や車上荒らしに遭った場合は、警察に連絡し、警察が来るまでに時刻や盗品の種類など状況をまとめておく(かなり詳しく聞かれる)。状況によっては(保険の問題などがある場合)レポートの提出を求められることもある。

7-3 交通違反

(1) 交通法規

最高速度はスクールゾーンで15マイル、市街地で25マイル、そのほかは40マイルである。

右側通行で車は左ハンドル(右ハンドルは違法)である。特別に変わった法規はなく、日本の法規を守って運転していれば問題はないが、左折(または右折)ランプを点滅させて曲がろうとしている車を追い越すことは禁止されている。仮に左折車(または右折車)の右側(または左側)に通り抜けられるスペースがあっても追い越してはいけない。

スクールバスが停車して生徒が乗り降りしている時は、スクールバスの後ろの車および対向車はスクールバスを追い越せず、生徒の乗降が終わるまで停止しなければならない。

(2) 罰金、罰則

日本と同様の運転を行っていれば検挙されることはまずないが、事故や違反に対しては罰金が科せられる。また、スピード違反の取り締まり、免許証のチェック、シートベルト着用などを行っている。罰金は一律50米ドルである。

7-4 車の修理

(1) 部品

車はタクシーなどで韓国車(ヒュンダイ)が最も多く見られるが、自家用車ではマツダ、三菱、日産などの日本車も多い。トヨタ、スズキも若干見られるが、ホンダやダイハツはほとんど走っていない。またフォードやGM、クライスラーなどのアメリカ

車も多く、ドイツ車(オペル、フォルクスワーゲン)やインド車(タタ)も走っている。一般的な消耗部品はストックがあるが、ふだん必要としない部品は取り寄せに1カ月程度かかる。

(2) 修理工場

販売店と修理工場が数軒ある。エンジンの分解なども行っており、修理技術に問題はない。ただし、電子系統など修理困難なものについてはパーツの取り替えとなる。高性能な車両の購入は、その後のメンテナンスが困難であるため勧められない。

主な修理工場は以下のとおりである。



- ・ ELM motor
- ・ J&J Brothers Auto Shop
- ・ Majuro Motors Inc.
- ・ Long Islands Auto servicesなど

8. 通信



8-1 電話

(1) 一般事情

国内の電話会社は、Marshall Islands National Telecommunications Authority (NTA) 1社のみである(「1-6 ガス、水道などの手続きと管理」の項を参照)。固定電話はマジロ環礁マジロ島とクワジェリン環礁イバイ島のみで利用可能である。マジロ市内の電話の一般家庭への普及率、利用頻度はともに高い。マジロ環礁やクワジェリン環礁、その他環礁でも携帯電話が普及している。

マジロの市内通話料は、一般加入電話では無料である。ホテルの電話事情はよいが、市内、長距離通話とも割高となる(たとえば市内通話料は、1通話あたり75セント程度)。

(2) 国内電話

通信状況はよく、停電以外で不通になることはほとんどない。

<通話料金>

- ・市内 : 一般加入電話間の場合は基本料金のみで、市内通話料金は不要。一般加入電話から携帯への通話は10セント/分、ホテルから市内へかける場合は、約75セント/1通話
- ・長距離(クワジェリン環礁イバイ島) : 50セント/分(昼間)

<電話のかけ方>

- ・市内電話 : 直接、7桁の電話番号をダイヤルする(一般電話→携帯電話、携帯電話→一般電話、携帯電話間も市内電話と同様)。
- ・長距離(クワジェリン環礁イバイ島) : 7桁の電話番号の前に1をダイヤルする。

(3) 国際電話

NTAからかける方法と自宅からかける方法とがある。NTAから海外にかける場合は、直接NTAに行き、担当者の指示に従う。自宅からかける可能性がある場合

は、電話利用契約時に国際電話利用を申請しておく必要がある。

・国際電話(日本含む) :011-国番号-0を除いた市外局番-加入番号

(4) 携帯電話

マジロ環礁、アルノ環礁、クワジェリン環礁イバイ島、ジャルート環礁、ウォッジェ環礁、キリ島、ロンゲラップ島などで利用できる。SIMカード(15米ドル)およびプリペイドカードを購入すれば国内・海外ともに通話可能である。プリペイドカードには、5米ドル、10米ドル、20米ドルがあり、NTA、大きなホテル、スーパーなどで購入可能。

8-2 電信

(1) ファクシミリ

ファックスを引くにはNTAに申請し、回線があれば引いてくれる。NTAや大きなホテルでもファックス送信サービスを行っており、ファックスを引いている事務所も多い。

(2) テレックス

該当情報なし。

(3) 電報

該当情報なし。

(4) インターネット

現地のプロバイダーは NTA(Marshall Islands National Telecommunications Authority)のみで、直接窓口でアドレス開設を申し込む(NTA の連絡先は「1-6 ガス、水道などの手続きと管理」の項を参照)。自宅でインターネット(ダイヤルアップ)を利用する場合、開設料15米ドルのほか、毎月、市内電話通話料(12米ドル)とインターネット利用料(39.95米ドル、無制限)が必要である。DSL の開設には、開設料89.95米ドル、毎月基本料金89.95米ドルおよび利用料がかかる。詳細はNTAに問い合わせる。接続コネクタの形状は、日本と同じモジュージャックである。

最近では、NTAによるワイアレスインターネットサービスが普及し、マジロ市内では接続可能範囲が広がっている。Wifi プリペイドカードを購入し、接続が可能。料金は、10米ドルで100分間利用できる。

8-3 郵便

(1) 一般事情

郵便局は、マジロ環礁マジロ島のウリガ地区RREストアの並びとデラップ地区Payless Supermarket内、そしてクワジェリン環礁イバイ島の計3カ所のみで、郵便物はすべて私書箱あてとなる。私書箱は年間20米ドル(サイズにより料金は異なる)で開設できるが、現在は私書箱数に余裕がなく待たされる可能性がある。マジロ島とイバイ島以外には郵便サービスがないため、他環礁への手紙や小荷物(重量10ポンド以下)の送付にはマーシャル航空の荷物取り扱い業務「パウチ」を利用している。パウチには宅配や私書箱のサービスがなく、荷物の発送手続きや引き取

りは発送者や引き取り者が直接空港で行う。

所要日数は、日本からの航空便は10日～2週間程度。SAL便は1カ月程度である。

現地から日本への航空便も同様である。ただし、郵便事情によりこれらの倍の日数を要することもある。なお、郵便物が途中でなくなるようなことはまずない。

・郵便料金

国内郵便(イバイ島あて) : はがき28セント

国際郵便(日本あて) : はがき98セント

・中央郵便局(United States Postal Service : USPS)

所在地 : ウリガ地区(Bank of Marshall Islands隣)

電話 : 625-3221 FAX : 625-3711

(2) 課税

個人消費物に関して課税されることはない。

(3) 国際宅配サービス

現地ではEMS(Express Mail Service)およびDHLの利用が可能である。連絡先は次のとおり(詳細はイエローページを参照)。



・United States Postal Service/USPS(EMSを取り扱う／中央郵便局)

・Air Marshall Islands(DHLを取り扱う)

9. コンピューター



9-1 ハード、ソフト

(1) 調達の方法

コンピューター取り扱い業者は少なく、店舗に在庫のあるパソコンや周辺機器の種類は限定的である。当国で入手できる機器は基本的にアメリカ仕様で、移送費がかかっているため、日本と比べて非常に高額である。

パソコン本体のみならず、プリンターなどの周辺機器やインクなどの消耗品、ネットワーク機器やPCカード類についても、購入希望の機器や消耗品の在庫があることはまれで、必要な場合はコンピューターと同様に海外からの取り寄せになる。

また、在庫がある場合でも価格が日本の2～3倍する場合もあるので、必要なものは赴任時に持参するか、日本の知人に依頼して郵送してもらうのが賢明である。

コンピューターの主な取り扱い会社は次のとおり(詳細はイエローページを参照)。



・Copy Master

・EZ Price Mart

・Office Mart

(2) 使用の際の注意

現地での修理が困難であるため、パソコンを使用するには故障しないように丁寧に扱うことが大切である。ソフトの在庫はほとんどなく、必要時に海外から取り寄せることになる。また、ウイルス対策を行う企業はないため、いったんウイルスに感

染するとお手上げ状態である。このため、パソコンにはウイルス対策ソフトを事前にインストールしておく必要がある。

(3) 修理

ハードまたはソフトの問題に対して、現地で修理、修復することは困難と考えたほうがよい。故障した場合は、パソコンを購入した会社あるいは他の取り扱い会社に依頼して海外に送付して修理する。他の取り扱い会社に依頼する場合は割高になることもある。購入時にどの程度のサービスが期待できるのか事前に確認しておくことが望ましい。

10. 職場環境、勤務条件



10-1 職場環境、勤務条件

(1) 就業時間

公務員の就業期間は8:00～17:00(12:00～13:00昼休み)。就業時間は決まっているが、一般的に仕事への取りかかりは遅い。勤務時間内に私用のため外出したり遅れてきたりすることもある。タイムカードで勤務時間が記録されるため、外出していた時間分を残業によって埋め合わせている。

また、停電になると照明、パソコン、エアコンなどが稼働しなくなり、業務が停滞するため、職場から人がいなくなる。民間企業の状況は公務員とは異なる。

(2) 執務室

配属先、部署および担当業務により大きく異なる。着任後、必要に応じて配属先と協議するとよい。

(3) 通勤事情

現地には公共交通機関がないため、自家用車またはタクシー通勤となる。



水産資源局

11. 出入国手続き



11-1 入国

(1) 空港施設概要

マジュロにある空港は非常に小さく、国際線と国内線が同じ滑走路と空港施設を利用している。入国手続き後の出口は1つしかない。

(2) 入国手続き書類

航空機内で入国カード(Arrival Card)と税関申告書(Custom Declaration Form)が配られるので、事前に記入しておく。

ビザについては、日本人の場合は滞在日数が30日以内で、なおかつ復路の(つまりマーシャルを出国する)航空券を所持していれば取得の必要はない。滞在期間が30日を超える場合は、在日本マーシャル大使館に問い合わせる。

滞在期間が1年以上の場合、入国後1年ごとに外国人登録の書き換えが必要で

ある。登録に必要なものは、パスポートサイズの写真2枚、パスポート、登録料である。ただし、マーシャル政府との契約による滞在には登録料は不要である。

(3) 入国審査

入国審査カードに必要事項を記入し、旅券とともに入国審査官に提出する。通常1カ月のビザが与えられる。

(4) 税関検査

飛行機内で配布される税関申請書類(Custom Declaration Form)を税関職員に提出し、荷物検査を受ける。昨今は酒類、タバコ類の密輸入が頻繁なため検査が厳しく、申告物の有無にかかわらず荷物はすべて開梱されて検査を受ける。酒類については2リットル、タバコについては2カートンと5箱までは無税で持ち込みができる。

(5) 空港内での留意点

盗難などの被害はほとんどないが、手荷物を紛失しないよう気をつける。

(6) 空港からの主な交通手段

「7-1(2) 空港から市内への移動」の項を参照。

(7) その他の留意点

日本からマーシャルを訪問する場合、一般的にはグアム経由であるためESTA(米国の電子渡航認証システム)登録は必要ないが、ホノルルを経由する場合は、事前にESTA登録を済ませておく必要がある。

11-2 出国

(1) 出国時の概要

搭乗手続きの際、空港使用税(出国税)20米ドルを支払う。

託送荷物はコンチネンタル航空の場合、ビジネスクラスは荷物2個(1個あたりの重量は32kg以内)まで、エコノミークラスは荷物1個まで無料である(1個あたりの重量は23kg以内)。

(2) リコンファーム

リコンファームは3日前までに1度行い、念のために搭乗日当日にもフライト変更の有無を確認する。

(3) チェックイン

出発時間の2時間前までにチェックインを済ませる必要がある。チェックインが遅くなると、オーバーブッキングが生じたり、飛行機の許容荷物量が超過して荷物が本人とは別の便になったりすることもあるので、チェックインは早めに済ませること。貴重品以外の手荷物は、チェックインの際に一時預かりとなり、出国審査の時に受け取る。ただし、出国審査の入口で、パスポート、航空券および搭乗券の提示が必要となるので、これらは手荷物に入れずに貴重品と一緒に手元に持っておくこと。

また、手持ちのコンピューター、携帯電話、デジタルカメラなどの電化製品は、出国審査時に電源を入れるように指示されることもある。

刃物などの危険物はすべて預け荷物となる。搭乗券は出国税20米ドルの現金

支払いと引き換えに渡される。

(4) 空港利用税

上記「(1) 出国時の概要」の項を参照。

(5) その他の留意点

入国時の留意事項と同様。

11-3 帰国手続き

(1) 帰国時に必要な事務手続き

電気、水道、電話ともに各公社に通知し、必ず精算する。処理に時間を要することも十分にありえるので、早めに(遅くとも1カ月前までに)通知する必要がある。特にインターネットはNTAの経理システム上、解約申請時点での精算が出来ず、少なくとも1ヶ月程度を要する。

(2) 車の処分

買い取り専門の会社はいないので、個人的に買い手を見つけるしかない。買い手は人づてで探す。「マーシャル諸島ジャーナル」に広告を出す人もいる。買い手が見つかったら車両登録証の譲渡欄に必要事項を記入し、国家警察に届け出る。

(3) 家財道具の処分

家財道具を処分してくれる会社は特にない。引っ越し前に個人でヤード・セールを開いているのを見かける。新聞などにヤード・セールの広告を出すこともできる。

(4) 住宅の明け渡し

帰国の3カ月前(一般的な例)には家主に通知する。この通知時期は各自の契約により異なるので、事前に確認しておく。帰国後に住居や家具の破損についてクレームがつけられ、日本に被害額の請求が送られてくる場合があるので、帰国前に家主にきちんと住居や家具の状況を確認してもらうことが大切である。

(5) 外貨持ち出し規制

特になし。

12. 治安、 緊急時の心得



※生命・財産に直結することでもあり、治安・安全情報に関しては、各自の責任において最新かつ正確な情報を入手してください。

12-1 暴動、クーデターなど

(1) 一般事情

これまで暴動やクーデターは発生していない。

(2) 対処法

該当情報なし。

12-2 強盗、盗難

(1) 一般的治安状況

現在まで殺人や強盗などの凶悪犯罪はまれである。しかし、近年、首都では未就労の若年層の増加による空き巣や居空きなどの軽犯罪、飲酒に起因する傷害事件や車両へのいたずらなどが増加傾向にある。また、婦女暴行事件も複数報告

されている。

(2) 住宅の防犯対策

外国人が住む独立家屋では、ガードマンを配置している住居もある。ドアに鍵を複数つける、玄関に防犯用ライトをつけるなど、防犯対策が必要である。また、番犬を飼うのは有効な防犯対策である。

(3) 市中での防犯対策

治安がよいとの思い込みから、つい油断しがちになるので、ふだんから持ち物などに常に気をつけるよう心がけたい。

(4) 注意すべき場所、危険地域

リタ地区(特に裏通り)では夜の1人歩きは避けるべきである。また、飲食店が集中しているウリガ地区では、週末の深夜から翌朝にかけて酔っぱらいが多く、けんかや車両へのいたづらが報告されているので、この時間帯には近づかないほうが無難である。

(5) 被害時の心得

被害に遭ったらすぐに警察に知らせる。強盗や盗難の犯人に直面した場合、無理に犯人を捕まえようと追いかけたり、抵抗したりしないほうが無難である。

(6) その他

マジュロ市内には野良犬が多く、歩行者に吠え掛かったり、すれ違いざまに咬み付いたりすることが少なくない。関係者が野良犬に咬まれるケースも年数回発生しており、当国には狂犬病は無いとされているが、破傷風や感染症などを引き起こす可能性もあるので、注意が必要である。特にデラップ～ウリガ地区での被害が多い。進行方向に野良犬がいる場合は刺激しないように道路の反対側を歩いたり、近づいたり吼えかかってきたときは、石を投げる振りや棒などを振り回すのが効果的である。

12-3 火災、風水害、地震

(1) 一般的災害発生状況

マーシャル諸島周辺海域は台風の発生地で、台風による大きな被害を受ける可能性は高くない。しかし、海抜が低いため豪雨が満潮と重なる場合は、道路や床下、床上浸水の被害が予想される。また、国内では地震による被害は報告されていないが、周辺国の地震による津波に対しては注意が必要である。

(2) 防災対策

どの環礁でも東側海岸に面している地区を中心に、高潮や高波の被害を受ける可能性が高いので、暴風雨時には近づかないことが肝要である。日ごろから食料備蓄、飲料水の確保に心がけ、いざという時のためにラジオや懐中電灯などを準備しておく。停電すると住宅の給水ポンプが使用できず、トイレの排水ができなくなる可能性があるため、日ごろからトイレのそばに水を確保しておくといよい。

(3) 被災時の心得

該当情報なし。

12-4 緊急連絡先電話番号

- ・日本大使館 :247-7463/7483
- ・警察 :625-8666(National Police)、625-8999(Local Police)
- ・消防、救急車 :625-8666

13. 社交



13-1 風俗習慣

女性は、肩や太ももを見せるのは避ける。海に出る時も、Tシャツや短パンを着用するなど配慮する。

13-2 パーティーでの留意点

「マーシャリーズタイム」と呼ばれるように、何事も予定時間より30分から1時間程度遅れて始まるので、時間どおりに行くと待ち時間が長くなる。ただし、日本人が主催する場合は、おおむね時間どおりに始まる。

パーティーはポットラック(持ち寄り)形式が多く、寿司を持っていくと大変喜ばれる。誕生日会、送別会などでは最後にお金を渡す習慣があるので、用意しておく必要がある。渡す金額は主催者との関係や自分自身の立場による。渡し方は、誕生日会などでは帰りのあいさつの時に本人(相手が大人の場合)と握手する際にさり気なく渡す。葬儀の際には棺桶の近くの入れ物に入れる。やり方がわからない時は、基本的にはほかの人と同じように行動すればよい。ただ、外国人の場合、若干多めの金額が期待される。

自分自身がパーティーを開催して現地の人を呼ぶ場合、呼ばれた人は配偶者や友人を連れてくることが多いので、食事を出す場合は多めに作ったほうがよい。

13-3 来客時の留意点

マジュロで生活する分には特に格式ばった接客方法はない。

13-4 訪問時の留意点

訪問時には事前に連絡をしていくほうがよいが、訪問しても相手がいなくてもよくある。また、手土産を持っていくと喜ばれる。現地の人の家に行っても、食事や飲み物はあまり出されない。

13-5 禁止されている言動(タブー)

公共の場(屋外)での飲酒は不可。日曜日のアルコール販売、購入、飲酒はできない。また、マジュロ環礁以外の環礁では飲酒は不可である。

肌の露出度は少ないほうがよい。また、頭をなでることは避けたほうがよい。

13-6 日本人会

現地日本人会はない。

13-7 JICA帰国研修員同窓会

2009年、JICA帰国研修員同窓会設立。

13-8 現地の人々との交流

JICA専門家やボランティアなど、現地で勤務する人々は配属先の関係者を通じて現地の人たちと知り合う機会ができる。専門家の配偶者などは、趣味やスポーツを通じて、あるいは子供の学校の父兄と交流する機会がある。

14. 教育



14-1 教育事情

(1) 一般事情

アメリカの教育制度を取り入れている。日本の小学校に相当するエレメンタリースクールは8年制である。ただし、リタ、ウリガ、デラップ地区の公立学校では、最初の6年間をエレメンタリースクール、7・8年目はミドルスクールとなる。コープ(CO-OP)やアサンプションなどの私立エレメンタリースクールは8年制で、ハイスクールは4年制である。以下では、エレメンタリースクールを小学校、ハイスクールを高校と記す。

(2) 日本人学校

日本人学校および日本人補習校はない。日本人子弟は現地の公立および私立校に通っている。

また、海外子女教育振興財団が行っている通信教育がある。

現地では日本人子弟向けの学習教材はほぼ皆無であるため、学年・能力・在留期間に応じた教材を携行すべきである。

<海外子女教育振興財団>

URL : <http://www.joes.or.jp/>

E-mail : service@joes.or.jp

受付時間 : 9:30~17:00(祝日・年末年始を除く月~金)

・東京

住所 : 〒105-0002 東京都港区愛宕1-3-4 愛宕東洋ビル6階

TEL : 03-4330-1341 FAX : 03-4330-1355

・関西分室

住所 : 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田3-4-5 毎日新聞ビル3階

TEL : 06-6344-4318 FAX : 06-6344-4328

(3) 現地校、外国人学校

外国人学校およびインターナショナルスクールはなく、日本人を含む外国人子弟は、主にコープスクール、アサンプション高校など現地の私立校に通っている。授業での使用言語は公立小学校ではマーシャル語・英語、私立小学校の多くは英語である。

小学校と高校は8月開始、5月終了の4クォーター制で、休校日は祝祭日のほかにクリスマスや感謝祭、イースターの時期にまとまった休みがある。

入学手続きは、公立小学校では出生証明書、Health Cardを持参の上、保護者が直接学校で手続きを行う。費用は登録料が20米ドルで、スクールバスの利用は無料である。私立小学校は入学手続き、学費、学年途中の入学の可否などが学校ごとに異なり、学費も毎年変更されるので、入学を希望する学校に直接問い合わせるほうがよい。

マジロ市街地からロングアイランドのライロック地区の間にある主な学校は下記のとおりである(詳細はイエローページを参照)。

<小学校>



- ・公立デラップ小学校 (Delap Elementary School)
- ・公立ライロック小学校 (Rairok Elementary School)
- ・公立リタ小学校 (Rita Elementary School)
- ・公立ウリガ小学校 (Uluga Elementary School)
- ・私立アサンプション (Assumption) 小学校
- ・私立コープ (CO-OP) スクール
- ・私立セブンスデイ・アドベンティスト (Seventh-Day Adventist) 小学校
- ・私立バプティスト (Baptist) 小学校

<高校>

- ・公立マーシャル諸島 (Marshall Islands) 高校
- ・私立アサンプション高校
- ・私立セブンスデイ・アドベンティスト高校
- ・私立コープ (CO-OP) スクール

<大学>

- ・マーシャル諸島短期大学 (College of the Marshall Islands)
- ・南太平洋大学 (University of South Pacific) マーシャル諸島校

(4) 幼稚園

外国人子女が通っている現地の幼稚園は次のとおりである。なお、保育時間は、おおむね4歳児が8:00から11:30、5歳児が8:00から14:30までである。



- ・私立バプティスト幼稚園
- ・私立コープ幼稚園
- ・私立セブンスデイ・アドベンティスト幼稚園

これらのほかに現地の子供たちは公立幼稚園 (ヘッド・スタート/Head Start Program) に通っている。ヘッド・スタートは小学校入学前の1年間を対象にした教育プログラムで、各地に設置されている。

- ・公立デラップ・ヘッドスタート (Delap Head Start Program)

14-2 教育関係施設

(1) 図書館など

以下の図書館がある。



・アレレ図書館(アレレ博物館)

15. 家庭の使用人



15-1 一般事情

当国では使用人を雇用することがそれほど一般的ではなく、家庭で使用人を雇っている日本人はほとんどいない。また使用人を斡旋する会社もないので、必要な場合は知り合いなどを通して紹介してもらう。マーシャル人以外の外国人を雇用する時は、滞在許可証を持っているかどうか確認する必要がある。

また、契約書の作成は面倒だが、きちんとしたものを作成して契約を交わすほうがよい。

これまでに海外経験や使用人を雇った経験がない場合は、自分自身が生活や業務に慣れるまでの間、使用人を雇わないほうが無難である。その理由は、自宅でものがなくなった時つい使用人を疑ってしまう、期待したとおりの仕事をしてくれない、雇用開始後に使用人に問題があることがわかって解雇するのが難しい、解雇したら逆恨みされる可能性があるなど、使用人は便利な反面、難しい側面もあるからである。

15-2 運転手

(1) 雇用

マジュロは島が小さく幹線道路が1本だけで、またタクシーが頻繁に通っているので、一般的に運転手を雇う必要性は低い。もちろん希望すれば可能であるが、運転免許取得に訓練や試験がないため、運転免許を持っているから運転技術が高いということは無く、人選は慎重に行った方がよい。また交通事故の場合も想定して、契約書等はきちんと作成して契約を交わした方がよい。

(2) 日常管理

多数の業務を任せると混乱したりやってもらえなかったりするるので、絶対に必要なことを中心に任せたほうがよい。

(3) 教育指導

しっかりとした運転技術を持つ運転手を雇ったほうがよい。飲酒運転はもちろん、勤務時間中のビートルナッツの使用は控えるよう指導した方がよい。

(4) その他の留意点

子供や犬の飛び出しが非常に多く、運転手の不注意(わき見、居眠り、飲酒など)による交通事故も多いので、運転手を雇う場合は交通安全に十分に気をつけるよう指導する必要がある。

15-3 家政婦／夫

(1) 仕事の種類と人数

当国ではあまり一般的ではないが、家事全般の手伝いをするメイドを雇うことはできる。必要に応じてパートタイム(たとえば、週1回)で掃除、洗濯、皿洗いをする人を雇うこともできる。仕事は主に掃除、洗濯、皿洗いで、料理のできる人を探すのは難しい。人数は1人で十分である。

(2) 雇用

知り合いなどを通して紹介してもらったほうがよい。マーシャル人、キリバス人、フィリピン人などを雇用することができる。外国人を雇用する時は、滞在許可証を持っているか確認する必要がある。時給は3米ドル程度である。

(3) 日常管理

大切なものは注意を引かないところに保管したほうがよい。

15-4 庭師、ガードマン

個人で庭師、ガードマンを雇用する人は少ない。大きなアパートや事務所には、庭師、夜間のガードマンがついていることが多い。

16. メディア



16-1 新聞、雑誌

(1) 現地発行の日刊紙

現地に日刊紙はなく、週1回「マーシャル諸島ジャーナル」(毎週木曜日発行)が発行されている。英語およびマーシャル語で書かれており、1部1米ドルで主要スーパーや市内のミニショップで購入できる。

(2) 日本の日刊紙

現地での購入はできない。日本の日刊紙はOCS(海外新聞普及株式会社)経由で購入するが、マーシャル諸島にはOCSサービス代理店がないので、日本のOCSへ申し込む。通常、約1週間で届く。また、日本経済新聞の米州版(日本語)を購入することも可能である。

 Yellow Page

(3) 欧米紙／誌

現地で購入できる主要欧米紙はない。欧米の雑誌は、インターネットや通信販売で個人的に取り寄せている。

(4) 日本の雑誌、書籍

現地での購入はできない。必要な場合は、インターネットなどを利用して通信販売で購入する。

16-2 ラジオ

(1) ラジオ放送局

FM局が3局ある。BNJ(99.9MHz)、V7anij_emman(101.1MHz)、V7AP(89.9MHz)。

AM放送局はV7ABラジオ・マーシャルのみで、周波数は1098kHz、放送時間帯は6:00～11:30である。

(2)NHKワールド・ラジオ日本(ラジオジャパン)

東南アジア向け、アジア大陸向け、オセアニア向け周波数のいずれも受信可能で、受信状態は良好である。受信機はマーシャルでは購入できない。

<ラジオジャパン問い合わせ先>

NHK国際放送局企画編成部

所在地 : 〒150-8001 東京都渋谷区神南2-2-1

電話:海外から :+81-3-3465-1111(平日/日本時間10:00～18:00)

日本国内から :0570-066066(NHK視聴者コールセンター/24時間受付)

E-mail :nhkworld@nhk.jp

<周波数表、番組表の入手>

URL :http://www3.nhk.or.jp/nhkworld/japanese/radio/shortwave/program_radio_j.pdf

(周波数表、番組表確認)

郵送 :上記NHK国際放送局企画編成部に請求する。(無料)

(3)聴取可能なその他の外国放送

VOA、ラジオ・オーストラリアの聴取が可能である。BBCの聴取も可能だが、受信状態はよくない。

16-3 テレビ

(1)地上波放送局

なし。

(2)衛星放送、ケーブルテレビなど



ケーブルテレビ局が1局(MBC :Marshall Broadcasting Corporation)ある。設置料は30米ドル。月額約36米ドルで17チャンネル受信できる。したがって受信開始月には、設置料と月額料金の合計66米ドルを支払う。NHKワールド・プレミアム、アメリカの主要テレビ局ABC、CBS、CNN、英国BBCなどが放送される。音楽、スポーツ、映画などの専門チャンネルもある。MBCのチャンネルでは、画面ではニュースや案内情報の静止画像が流され、音声はニュース、音楽や各種イベントなどを流している。このため画面と音声は内容が異なる。

また2009年からNTAが衛星放送配信サービスを開始したが、こちらではNHKワールド(英語放送)が受信できる。

<NHKワールド・プレミアム問い合わせ先>

(株)日本国際放送NHKワールド・プレミアム「カスタマーセンター」

所在地 : 〒150-0042 東京都渋谷区宇田川町7-13第二共同ビル5F

電話 :+81-3-5458-6601(平日/日本時間 10:00～18:00)

E-mail :premium@nhk-jn.co.jp

<番組表の入手>

URL:<http://www.nhkworldpremium.com/program/week.aspx?ssl=false&c=26>

(週間番組表確認)

1. +81-3-5940-5411 におかけください。
2. 音声案内にしたがい、「0」を押したあと、続いて「012」を押してください。
3. 音声案内の後、受信ボタンまたはスタートボタンを押すと、自動的に番組表が送られます。

(週間番組表FAXサービス)

(3)テレビ受信

NTSC方式である。メーカーや機種を問わなければ、現地でテレビ受信機やビデオデッキを購入することは可能である。

17. スポーツ、 趣味、 語学学習



17-1 スポーツ

(1)ゴルフ

ゴルフ場はない。

(2)テニス、フィットネス

<テニスコート>

MIRホテルに1面とロングアイランド・ホテルに2面ある。MIRホテルは会員制で、会費月額30米ドルで併設のテニスコート、フィットネスセンターを利用できる。個別の施設利用(たとえば、テニスコートのみ)の会費はない。ロングアイランド・ホテルのテニスコートは無料で開放されている(各ホテルの所在地などについてはイエローページ「4. ホテル、ゲストハウス」の項を参照)。

ラケットやボールは次の店で入手可能である(詳細はイエローページを参照)。

Yellow Page

- ・Office Mart
- ・Do it Best
- ・Payless Supermarket
- ・Ace Hardware

<フィットネスセンター、プール>

MIRホテルとロングアイランド・ホテル(月額45米ドル)に会員制のフィットネスセンターがあり、どちらも比較的清潔である。また、MIRホテルに海水を利用したプールがあるが、汚れて利用されていないことが多い。

(3)その他のスポーツ

盛んなスポーツはバスケットボール、バレーボール、スキューバダイブ、ソフトボールである。マジュロで唯一の体育館であるECC体育館(デラップ地区)では、各種スポーツイベントが開催される。広い土地がないので、本格的なサッカーやラグビーなどはできないが、デラップ地区のPayless Supermarket前の広場で外国人を中心にサッカーやラグビーを練習している姿を見かける。

<バスケットボール>

バスケットコートは照明付きの野外コートがデラップ地区に1面ある他、街のいたるところにバスケットのゴールネットがあり、3オン3をしている。バスケットコートは空

いていればいつでも無料で利用できる。ECC体育館では学校対抗戦やクラブチーム対抗戦が実施される。男女ともバスケットをやっているが、街中では男の子が多い。

<バレーボール>

各家庭の庭や広場にネットを張って行われている。女性が多い。

<ソフトボール>

マジュロでは試合ができるほどの広場が少なく、主にローラ地区にある草野球場やデラップ地区のNTA裏手にある草野球場で行われる。男性が中心。

<水泳>

内海と外海のどこでも泳げるが、ビーチによっては所有者に許可をとる必要がある。ローラ地区のビーチでは、利用するためには1人1米ドル払わなければならない。強い日差しを避けるため、男性、女性ともに水着の上にTシャツと帽子を着用したほうがよい。なお外海は波が荒いため、シュノーケリングや海水浴は内海の方が安全である。

<スキューバダイブ>

2010年8月、当国唯一のダイビングショップが閉店。現在JICAとして許可した利用できるダイビングショップはない。

17-2 趣味

<園芸>



種苗、鉢植え、肥料などはAce Hardware(詳細はイエローページ「8.生活用品」を参照)で購入できる。また、日本から、三つ葉、パセリなどちょっとした種を持参すれば、鉢植えなどは可能である。しかし、土地が砂地であることや気候の問題から植物の栽培は難しい。

<釣り>

外海ではボートや船でトローリングをしてマグロなどを、内海ではボートやカヌーなどでリーフフィッシュを釣る。ボートはRREホテルなどで半日450米ドル程度で借りられる。釣り道具はAce HardwareやEZ Price Martで購入できる。

<手芸>

毛糸、生地、糸、針などはスーパーやストアで購入できる。現地の人はパンダナスやヤシの葉を使って、かごやシート、髪飾り、バッグなどを作って民芸品として販売している。ミシンを使った洋裁もよく行われている。特に趣味とする人は、材料などを日本から持参したほうがよい。

<絵画>

絵画を趣味とする人は材料などを日本から持参したほうがよい。子供向きには、絵の具やクレヨン、画用紙などをスーパーで購入することができる。

17-3 語学学習

(1) 語学学習施設

語学学習施設はなく、高校や短期大学の教師が、学校とは関係なく個人的に教える場合が多い。

(2) 家庭教師

家庭教師を専門にしている人はいないので、知人でできる人に頼むしかない。

18. 観光



18-1 地方旅行の留意点

外国人の国内旅行に関して必要な手続きはない。まれに盗難事件などが発生するが、命にかかわる事件などはほとんどない。なお、離島では飲酒が禁じられており、離島の空港では飛行機の到着時に警察による荷物チェックがあるので、酒類は持ち込まないこと。

国内線航空会社はマーシャル航空(Air Marshall Islands :AMI)1社のみで、マジュロから各環礁(離島)へ週1~2便が運航している。

空港施設、搭乗手続きカウンター、搭乗口はすべて国際線と同じである。空港使用料はマジュロ発が2米ドルで、他の環礁は場所により料金が異なる。航空券は市街地にあるAMI事務所で購入が可能である。予約確認時点から出発3日前までに料金を支払う。ただし、予約をしても搭乗予定日の3日前までに発券を受けないと自動的にキャンセルされてしまうので、注意が必要である。

また、国内線は緊急移送などのチャーターなどによりキャンセルやダイヤ変更、経由ルートの変更などが非常に多いため、旅行日程に余裕を持たせることを勧める。目的地到着時に必ず帰路便のリコンファームを行うこと。出発当日はチェックインから出発までに若干の時間があるが、国内線は全乗客のチェックインが完了すると出発予定時刻前に出発することもある。チェックイン後、わずかな時間空港を離れて、飛行機に乗り遅れた例もある。

・国内線航空会社

Air Marshall Islands 電話 :625-3733 FAX :625-3730

<宿泊施設の手配>

・ キリ島、ジャルート環礁、ウォツジェ環礁、リキエツ環礁

キリ島、ジャルート環礁、ウォツジェ環礁、リキエツ環礁には簡易宿泊施設がある。キリ島の宿泊施設の利用については、キリ地方政府 Kili/Bikini/Ejit Local Government の事務所 (電話 :625-3177 担当者 :Mr. Jack Niedental)、ジャルート環礁の宿泊施設については、電力会社 Marshall Energy Company(電話 :625-8445、FAX :625-6145)、ウォツジェ環礁についてはMIDB(Marshall Islands Development Bank)に問い合わせをする。これらの簡易宿泊施設では食事がついていないため、食材などを自前で持ち込み、自炊することになる。

・ビキニ環礁、ロンゲラップ環礁：

両環礁の地方政府は、近年、ダイビングおよびフィッシングを中心とした観光に力を入れている。詳細は、下記のホームページおよび連絡先で確認する。

ビキニ環礁ホームページ：<http://www.bikiniatoll.com>

ロンゲラップ環礁地方政府 (Rongelap Atoll Local Government) 連絡先：

所在地：Rongelap Atoll Local Government, P.O.Box 1766, Majuro, MH
96960, Marshall Islands

電話：625-7177/7099 FAX：625-5400

・その他の離島、環礁：

離島に知り合いがない場合は、各地方政府知事を通じて宿泊先を紹介してもらうことになる。それもできなければ現地到着後、直接交渉する。

マーシャル諸島には首都マジュロとクワジェリン環礁イバイ島以外の離島には電話がないため、現地到着後の交渉にならざるをえない。

18-2 主要観光地・保養地

離島には電気・水道がなく、今なお昔ながらの自給自足の生活を送っているところが多い。道路は未舗装で自動車旅行には適さず、また、自動車自体が存在しない離島が多い。各離島でマリンスポーツが楽しめるが、必要な機材はすべて持参しなければならない。船舶を利用する場合は、現地に着いてからの交渉になる。

飛行機以外の交通手段としては船舶もあるが、客船ではなく輸送船である。直接交渉して甲板に乗せてもらう。

マーシャル諸島には第2次世界大戦中、日本軍が駐屯しており、ジャルート環礁、ウォツジェ環礁、ミリ環礁、マロエラップ環礁において旧日本軍の遺物を見ることができる。

ビキニ環礁、ロンゲラップ環礁については、「18-1 地方旅行の留意点<宿泊施設の手配>」を参照。

ジャルート環礁、キリ島などに小規模な宿泊施設があるが(18-1参照)、他の離島へ旅行する場合は、民家に宿泊させてもらうか、野宿することになる。また、レストランもないので食材は持参する。

18-3 旅行代理店

主な旅行代理店は以下のとおり。

・Pacific Unique Travel P.O.Box 726

電話：625-3409/6109

19. 私財の輸送、 引き取り、 購入



Yellow Page

19-1 家財道具

(1) 輸送業者

船便を扱う会社は以下の2社(詳細はイエローページを参照)である。

- ・Robert Reimers Enterprises Inc. (NYK)
- ・Majuro Stevedore & Terminal Co. Inc. (Matson)

(2) 輸入手続き

家財道具を輸入する場合は、インボイスまたは内容証明と航空あるいは船積み貨物受領証を持って大蔵省へ行き、輸入申請書に記入し税金を支払う。インボイス(家財道具の場合は内容証明)、貨物受領証、そして大蔵省で税金を支払った旨を記した書類を持って取り扱い会社(船、航空会社)へ行き、荷物を引き取る。なお船便の場合、港使用料を運輸省に支払わなくてはならない。

(3) 輸入貨物の受け取り港

・Continental Air Micronesia(空港事務所 電話 :247-3092FAX :247-764の場合)、空港にある事務所に取りに行く。船便の場合は、市内の荷物到着港に行く。

19-2 自動車

(1) 一般状況

輸入規制、車種および排気量規制はない。ただし、左ハンドル車のみ(右ハンドル車は違法である)である。

(2) 輸入手続き

輸入を請け負っている会社がいくつかあるので、そこを通すか個人で手続きする。**Yellow Page** 乗用車には輸入税がかかる。JRC(イエローページ「15.コンピューター販売会社」の項を参照)やMJCC(イエローページ「7. 食料品」の項を参照)は日本からの自動車の輸入代行も行っている。

潮風のためにさびやすいので、新車の場合はさび止めの処置を依頼することが必要である。

(3) 現地での購入

種類が限られ割高になるが、新車、中古車ともに購入可能である。離任間近の専門家などから個人的に購入する方法もある。自動車販売会社は以下のとおり。

Yellow Page

- ・Majuro Motors Inc.(主にマツダ)
- ・ELM Motors(主に三菱)
- ・Payless Motors(主にフォード)

(4) 自動車登録

購入後、自動車保険に加入し、保険書類を添えて、国家警察で車両のチェックを受ける。不備がなければその場で登録証を作ってくれる。登録の更新は毎年実施される。手数料35米ドル(ステッカー代含む)が必要である。

(5) 免許証取得

日本の運転免許証と国際免許証を国家警察へ持参して、マーシャルの免許証に

書き換えてもらう。このため、現地で運転する必要がある場合は、国際免許証を持参する必要がある。手数料は写真代込みで15米ドルである。

(6) 保険、税金

保険会社は数社あり、対人、対物、自損事故による車両の故障など、保険の内容を選択できる。自動車保険は契約期間が1年だが、契約が終了しても保険会社から通知してこないため、各自で保険満了日に注意して適宜更新する。契約満了後に運転することがないように注意が必要である。

20. 地方都市



地方都市として、クワジェリン環礁イバイ市がある。コンチネンタル航空が就航しており、マーシャル第二の都市と言われている。しかし徒歩30分で1周できる島に1万人を越える住民が住んでいるため生活環境は良いとは言えず、また観光スポットも特に無い。ホテルは2軒ほど存在するが、値段の割に質は低い。

またマジュロ環礁からエア・マーシャルで1時間程度のところにはジャルート環礁ジャボール村がある。村は小さく、車両も驚くほど少ないが、ここジャルート環礁は第二次世界大戦中に日本軍の指令所があった地域であり、戦跡も数多く見ることができる。

Part 3 イエローページ

※特に記載のない限り、マーシャル支所のあるマジュロの情報が中心になっています。

1. ICA 事務所(マーシャル支所)

所在地	:1st Floor, P.II Complex, Delap Village, Majuro Atoll, Republic of the Marshall Islands
TEL/FAX	+692-625-5437~8 FAX:+692-625-5439
URL/E-mail	URL:なし E-mail:ma_oso_rep@ijica.go.jp

2. 日本大使館

日本大使館	Long Island(Payless Supermarket 向かい)
	TEL:247-7463/7483 FAX:247-7493

3. 緊急連絡先電話番号

日本大使館	TEL:247-7463/7483
消防、救急車	TEL:625-4144
警察	TEL:625-8666(National Police)、625-8999(Majuro Police)

4. ホテル、ゲストハウス

* 宿泊料金は 1 泊料金(税・サービス料込み)。ただし、マーシャルアイランズリゾートは税別料金を表示。宿泊価格は変動する可能性があるため、必ずフロントで確認すること。

<ウリガ地区>

・ホテル・ロバート・レーマーズ(Hotel Robert Reimers:RRE ホテル)
P.O.Box 1
TEL:625-3250/5131 FAX:625-3505
URL:http://www.rreinc.com/
E-mail:rreadmin@ntamar.net (Attention:Ms. Colette Reimers, Hotel Manager)
料金:シングル 75 米ドル~、ダブル 80 米ドル~、バンガロー型シングル 110 米ドル、バンガロー型ダブル 120 米ドル
VISA、MasterCard
39 室。全室冷房、冷蔵庫、ケーブルテレビ、バス、シャワー付き。長期滞在可能。

<デラップ地区>

・マーシャルアイランズリゾート(Marshall Islands Resort)
P.O.Box 3297
TEL:625-2525 FAX:625-2500
URL:http://www.marshallislandsresort.com/
E-mail:reservations@marshallislandsresort.com
料金:シングル 130 米ドル+税+サービス料~ ダブルはシングルと同料金。
VISA、MasterCard、American Express
150 室。全室冷房、冷蔵庫、ケーブルテレビ、バス、シャワー付き。長期滞在可能。

<ロングアイランド地区>

・ロングアイランド・ホテル(Long Island Hotel)
P.O.Box 671
TEL:247-6789 FAX:247-6780
E-mail:lihotel@ntamar.net
料金:シングル 68 米ドル~、ダブル 85~139.62 米ドル
VISA、MasterCard、American Express
全室冷房、冷蔵庫、ケーブルテレビ、バス、シャワー付き。長期滞在可能。

5. 美容院

・Elegance Spa & Massage Clinic
デラップ地区(MIR ホテル 1 階)
TEL:456-6279
営業時間:月~土 10:00~20:00、日 13:00~20:00
料金:カット 10 米ドル
・Hair Tech MLV
ロングアイランド地区
TEL:247-8476
料金:カット 10 米ドル

 ・Hair Comb Salon & Spa

Mobil の向かえ
 TEL: 625-4247
 営業時間: 月～土 10:00～19:00
 料金: カット 10 米ドル

 ・Cutting Edge Salon

ウリガ地区 (RRE ホテルの 1 階)
 TEL: 625-5348
 営業時間: 月～土 10:00～19:00
 料金: カット 10 米ドル

6. レストラン

<ホテル内のレストラン>

 ・Tide Table

RRE ホテル内
 TEL: 625-3250
 URL: <http://www.rreinc.com/>
 日替わりメニューあり。

 ・Enra Restaurant

MIR ホテル内
 TEL: 625-2525
<http://marshallislandsresort.com/>
 アメリカ料理。曜日によりbuffet形式の昼食や夕食がある。日替わりメニューあり。

 ・Long Island Hotel Restaurant

ロングアイランド・ホテル内
 TEL: 247-6788/6789
 E-mail: lihotel@ntamar.net
 中華料理。

<市中のレストラン>

* マーシャルには地区より細かい地域分類や番地がないため、所在地には近隣の目立つ公共機関名か民間施設名を記載している。料理の種類は、おおまかな分類の目安である。

○ウリガ地区

 ・Won Hai Shein Restaurant

ウリガ・ドック前
 TEL: 625-6641
 中華料理。アサヒビールあり。頻繁に利用されるレストラン。

 ・Monica's Restaurant

Formosa Shopping Center 隣
 TEL: 625-6686
 中華料理。

 ・Dar Coffee Corner

Marshall Islands Journal 隣
 TEL: 625-3174
 アメリカン・中華料理など。一部、マーシャル料理もある。

 ・Skyline Restaurant

Division 7 Twelve Store 前
 TEL: 625-6024
 アメリカン・中華料理・カレーなど。

 ・Allian Restaurant

TEL: 625-8138
 中華料理。

○デラップ地区

 ・Oriental Restaurant

Payless Supermarket の隣
 TEL: 625-2088
 中華料理。

 ・Flame Tree Restaurant

ECC 体育館と Payless Supermarket のちょうど中間あたり
 TEL: 625-4229/625-8733
 アメリカ料理。夜は生バンドも入る。

 ・Best Food Coffee Shop

JICA 事務所前
TEL: 625-2899
カフェ。パン、サンドイッチ等。

 ○ロングアイランド地区

 ・Special Restaurant

ストーン・ハウス前
TEL: 247-4771
中国料理。

 ・Stone House Restaurant

Long Island
TEL: 247-3992
日本料理。日本人が経営している。

 ・東北風味

ストーン・ハウス前
TEL: 247-6666
中華料理。

 7. 食料品

 <スーパーマーケット>

 ・Formosa Shopping Center

デラップ地区 (ECC 体育館の左隣)
TEL: 625-8089
営業時間: 月～土 8:00～22:00、日 8:00～21:00
台湾系のスーパーマーケット。食料品のほか、食器・調理器具、日用品・雑貨も扱っている。ウリガ地区 (RRE ホテルの向かい)、ロングアイランド地区、アジャルタケ地区にも店舗がある。

 ・Payless Supermarket

デラップ地区 (政府合同庁舎隣)
TEL: 625-3321/3123
営業時間: 月～木 7:30～21:00、金・土 7:30～22:00、日 7:30～20:00
VISA、MasterCard が利用可能。
2003 年 10 月に開店した大型スーパー。新鮮な野菜を定期的に入荷している。店内が明るく、品揃えも豊富。ロングアイランド地区にも支店がある。

 <日本食品が購入できる店>

 ・MJCC (Marshalls-Japan Construction Company)

デラップ地区 (政府観光局/MIVA 近く)
TEL: 625-3500
営業時間: 月～土 8:30～18:00

 ・Best Food Coffee Shop

JICA 事務所前
TEL: 625-2899
営業時間: 月～土 7:30～20:00、日 9:00～18:00
納豆、練り物、冷凍食品、調味料、インスタント食品等を取り扱っている。

 8. 生活用品

 ・Formosa Shopping Center 上記参照

 ・Payless Supermarket 上記参照

 ・MJCC (Marshalls-Japan Construction Company) 上記参照

 ・EZ Price Mart

ウリガ地区 (ボーリング場近く)
TEL: 625-4758/4940
食器・調理器具、家電を扱っている。

 ・Copy Master

デラップ地区 (マーシャルアイランドリゾートホテルの向かい)
TEL: 625-2884
E-mail: sale@copymastersintle.com
雑貨、小型家電、PC 関連商品を扱っている。

 ・Momotaro Corporation

ウリガ地区 (MIVA とアサンブション高校の間)
TEL: 625-3334/3778

	日用品・雑貨。
•Ace Hardware	ウリガ地区 (RRE ホテルの1階) TEL: 625-3250/3119 (ext.218/207) URL: http://www.rreinc.com/ E-mail: rreadmin@ntamar.net 日用品・雑貨のほか、工具・素材、釣具等を扱っている。
•Do it Best	デラップ地区 (ECC 体育館隣) TEL: 625-3461 日用品・雑貨のほか、工具・素材、大型家電を扱っている。
•Division 7 Twelve Store	ウリガ地区 TEL: 625-8605 日用品・雑貨のほか、食料品も扱っている。店内は清潔感がある。
•Office Mart	ウリガ地区 (Momotaro Corporation とアサンブション高校の中間) TEL: 625-6250 文房具や雑貨、小型家電、PC 関連商品を扱っている。

9. 金融機関

•Bank of Guam (Majuro Branch)	デラップ地区 (Payless Supermarket 隣) TEL: 625-3322/3331 FAX: 625-3444 営業時間: 月～木 10:00～15:00、金 10:00～18:00、土日祝日休み 口座の開設には身分証明書と米ドル(初回入金分なのでいくらでも可)が必要。
•Bank of Marshall Islands	○本店 ウリガ地区 (RRE ホテル向かい) TEL: 625-3636～7/3662/6264 FAX: 625-3661 営業時間: 月～金 8:00～17:00、土 13:00～16:00、日祝日休み 口座の開設には身分証明書と100米ドルが必要である。 ○空港支店 (Airport Branch) 空港施設内 TEL: 247-3636～7 FAX: 247-3661 営業時間: 月・水・金 13:00～19:00、火・木 7:00～13:00、土 7:00～13:00、日祝日休み 口座の開設は本店と同様。

10. レンタカー会社

* 料金は、レンタカー会社が提供一般的なセダン(乗用車)タイプを1日(24時間)利用する場合の車両のみのレンタル料金である。運転手を利用する場合には別途運転手の料金が必要となる。利用車種を指定する場合や運転手を利用する場合の料金については、利用前に各レンタカー会社に照会しておくこと。また、レンタカー会社によってはデポジットを最初に払い、そこから利用した分の料金が差し引かれる。

•DAR Car Rentals	P.O.Box 153, Majuro TEL: 625-3174 FAX: 625-3344 料金: 70米ドル(デポジット 150米ドル)
•ELM Car Rentals	P.O.Box 477, Majuro TEL: 625-3466 FAX: 625-6169 料金: 70米ドル(デポジット 150米ドル)
•G&L Car Rental	P.O. Box 957, Majuro TEL: 625-3133 FAX: 625-3164 料金: 39.40米ドル(デポジット 100米ドル)
•Majuro Motors Inc.	P.O.Box 1782, Majuro TEL: 625-4424/4422/8811 FAX: 625-4821 料金: 67.60米ドル(デポジット 167.60米ドル)
•Pacific Wheels	P.O.Box 6, Majuro TEL: 625-7497 Rate: 60米ドル(デポジット 135米ドル) ※pick-up 車のみ

 ・RRE Hotel Car Rental

P.O.Box 1, Majuro
 TEL: 625-5131 FAX: 625-3505
 料金: 82 米ドル(デポジットなし)

11. 自動車修理工場

 ・J&J Brothers Auto Shop

デラップ地区
 TEL: 625-2580 FAX: 625-2582

 ・ELM Motor

デラップ地区
 TEL: 625-3466 FAX: 625-6169

 ・Majuro Motors Inc.

デラップ地区
 TEL: 625-4424/4422/8811 FAX: 625-4821
 E-mail: atcauto@ntamar.net

 ・Long Island Auto Services

ロングアイランド地区
 TEL: 247-7741

12. 国際宅配サービス

<EMS 取り扱い>

 ・United States Postal Service/USPS(現地郵便局)

TEL: 625-3221 FAX: 625-3711
 営業時間: 月～金 8:00～16:00 土 13:00～16:00
 URL: <http://www.usps.com/> (United States Postal Service ホームページ)
 料金: (日本あて) 重さ 1 ポンドまで 29.95 米ドル

<DHL 取り扱い>

 ・Pacific International Inc.(P.I.I.)

TEL: 625-6345 FAX: 625-3731
 営業時間: 月～金 8:00～17:00 土 8:00～12:00
 URL: <http://www.dhl-usa.com/index/> (DHL ホームページ)
 E-mail: amisales@ntamar.net (Air Marshall Islands 連絡先)
 料金: (日本あて) 重さ 1 ポンドまで 53.76 米ドル(書類)、68.46 米ドル(書類以外)

13. コンピュータ販売会社

 ・Copy Master

デラップ地区(アウトリガー・ホテルリゾートの向かい)
 TEL: 625-2884

コンピューター本体の在庫はなく、必要時に取り寄せることになる。ソフトや周辺機器、事務機器、事務用品を販売している。ハワイやフィジーにも店があり、比較的新しい商品を取り揃えている。価格は他社より割高だが、比較的信頼がおける。日本語仕様のパソコンおよび日本語ソフトの入手は困難。

 ・EZ Price Mart

ウリガ地区(ポーリング場の向かい)
 TEL: 625-4758 FAX: 625-6141

コンピューター本体やプリンター、モニターなどを展示しており選択しやすい。周辺機器も販売している。ただし、機種が古いものや、コンピューター登録や OS 登録がすでになされているものが販売されている場合もあるので、購入時に注意すること。日本語仕様のパソコンや日本語ソフトの入手は不可。

 ・JRC (Japan Recycle Corp.)

ロングアイランド地区(空港から車で 2～3 分のところ)
 TEL: 247-8005

営業時間: 月～土 9:00～20:00
 日本語仕様のパソコンや周辺機器、日本語ソフトの輸入代行も行っている。希望により最新機種の購入も可能。

14. 教育機関

<小学校>

 ・公立デラップ小学校(Delap Elementary School)

P.O. Box 3, c/o Ministry of Education
 TEL: 625-6552

 ・公立ライロック小学校(Rairok Elementary School)

P.O. Box 3, c/o Ministry of Education

	TEL: 247-3752
・公立リタ小学校 (Rita Elementary School)	P.O. Box 3, c/o Ministry of Education TEL: 625-7737/7747
・公立ウリガ小学校 (Uluga Elementary School)	P.O. Box 3, c/o Ministry of Education TEL: 625-6776
・私立アサンプション (Assumption) 小学校	P.O. Box 8 (ウリガ地区、消防署の前) TEL: 625-3795 FAX: 625-5201
・私立コープ (CO-OP) 小学校	P.O. Box 81 (デラップ地区、Majuro Hospital の裏手) TEL: 625-3144 FAX: 625-3719 URL: http://majurocooperativeschool.org/
・私立セブンスデイ・アドベンティスト (Seventh-Day Adventist) 小学校	P.O. Box 1 (デラップ地区、Majuro Hospital の裏手) TEL: 625-3367 FAX: 625-6367/5397
・私立バプティスト (Baptist) 小学校	P.O. Box H (リタ地区の東端に近い外海側) TEL: 625-3141 FAX: 625-4690
<高校>	
・公立マーシャル諸島 (Marshall Islands) 高校	P.O. Box 4 (リタ地区) TEL: 625-3255/4594 FAX: 625-3830 URL: http://www.homestead.com/marshallislandshigh/
・私立アサンプション 高校	P.O. Box 8 (ウリガ地区、消防署の前) TEL: 625-8426 FAX: 625-6575
・私立セブンスデイ・アドベンティスト 高校	P.O. Box 8 (デラップ地区、Majuro Hospital の裏手) TEL: 625-3367 FAX: 625-6367/5397
・私立バプティスト (Baptist) 高校	P.O. Box H (リタ地区の東端に近い外海側) TEL: 625-3141 FAX: 625-4690
<大学>	
・マーシャル短期大学 (College of the Marshall Islands)	P.O. Box 1258 (ウリガ地区、国家警察の向かい) TEL: 625-3394/5427 FAX: 625-7203
・南太平洋大学 (University of South Pacific) マーシャル校	P.O. Box 3537 TEL: 625-7279 FAX: 625-7282 URL: http://www.usp.ac.fj/
<幼稚園>	
・私立バプティスト幼稚園	P.O. Box H (リタ地区の東端に近い外海側) TEL: 625-3141 FAX: 625-4690 対象年齢: 4~5 歳 使用言語: 英語 英語教育を行っており、授業の評価は高い。幼稚園は入園料 50 米ドル、月額 60 米ドル。
・私立コープ (CO-OP) 幼稚園	P.O. Box 81 (デラップ地区、Majuro Hospital の裏手) TEL: 625-3144 FAX: 625-3719 URL: http://majurocooperativeschool.org/ 対象年齢: 5 歳 (Kindergarten) 使用言語: 英語 空きがあれば入園でき、入園料は 105 米ドルである。料金は月に 210 米ドルで、送迎は保護者が行う。
・私立セブンスデイ・アドベンティスト幼稚園	P.O. Box 1 (デラップ地区、Majuro Hospital の裏手) TEL: 625-3367 FAX: 625-6367/5397 対象年齢: 4~5 歳

使用言語: マーシャル語

入園料は 95 米ドルである。料金は月に 75 米ドルで、送迎は保護者が行う。

・公立デラップ・ヘッドスタート(Delap Head Start Program)

P.O. Box 797

TEL: 625-4622~3 FAX: 625-4787

対象年齢: 5 歳

使用言語: マーシャル語

・公立ライロック幼稚園

P.O. Box 3, c/o Ministry of Education

TEL: 247-3752

15. 図書館

・アレレ図書館(アレレ博物館)

所在地: P.O.Box 629

電話: 625-3372/3550 FAX: 625-3226

allele@ntamar.com

利用時間: 月~金 9:00~16:00(12:00-13:00 昼休み閉館)

現地在住であれば誰でも利用でき、蔵書も豊富である。書籍は主に英語である。利用料は無料だが、貸し出しを希望する場合は貸出利用料(1 年利用は 10 米ドル)を支払う。子供室があり子供の本もある。

16. 日本の新聞の購読

・海外新聞普及(株)(OCS)輸出購読サービス

〒108-8701 東京都港区芝浦 2-9-13

TEL: 03-5476-8131 FAX: 03-3453-8091

URL: <http://www.ocs.co.jp/>

E-mail: subs@ocs.co.jp

・日本経済新聞(日本経済新聞国際版米州版)

URL: <http://www.nikkeius.com/htm/beishuguide.html>

配達方法: OCS によりロサンゼルスからファーストクラスメールで郵送配達

購読料(月額): 105 米ドル(アメリカ国内郵便料金が適用される)

支払い方法: クレジットカードまたは日本円での支払いも可(2010 年 1 月現在 14,850 円)

上記 URL アドレス上の連絡先へ詳細を問い合わせるか、OCS へ問い合わせる。

17. ケーブルテレビ

・Marshall Broadcasting Corporation (MBC)

P.O. Box 19(ウリガ地区 RRE ストア内、申し込みおよび料金支払いは Western Union Bank で行う。)

TEL: 625-3812

料金: 36 米ドル/月、設置料 30 米ドル

18. テニスクラブ、スポーツ用品

・マジュロ・テニスクラブ

TEL: 455-1124 (代表者宅)

代表(President) Mr. Phil Phillip。特に事務所はない。

・Payless Supermarket

デラップ地区(政府合同庁舎隣)

TEL: 625-3321/3123

・Formosa Shopping Center

デラップ地区(ECC 体育館の左隣)

TEL: 625-8089

・Office Mart

ウリガ地区(Momotaro Corporation とアサンプション高校の中間)

TEL: 625-6250

19. 輸送会社

・Robert Reimers Enterprises Inc.(NYK)

TEL: 625-3119 ext: 226/281 FAX: 625-3783/3505

・Majuro Stevedore & Terminal Co. Inc. (Matson)

TEL: 625-3238/3369 FAX: 625-3863

20. 自動車販売会社

・Majuro Motors Inc.

デラップ地区

TEL:625-4424 FAX:625-4821

日産車、マツダ車など。

・ELM Motors

デラップ地区

TEL:625-3466 FAX:625-6169

台湾などから輸入した三菱車を中心。
